

施策の方向性(A)「文化創造の基盤づくり」:これからの大阪の芸術文化の創造・発展に向けて、芸術文化の振興のための根幹をなす基盤づくりを推進

A-①:芸術文化を創造する人材、支える人材の育成・支援の充実

【芸術活動振興事業助成金】

■団体・個人が行う芸術文化活動の事業経費の一部を補助することによって、大阪の芸術文化団体の活動の発展、及び大阪市内で水準の高い多様な芸術活動が開催される支援を行い、大阪の芸術文化の創造と発展を図る。

■大阪アートカウンシルにおいて審査し、採択事業を決定

➢令和元年度実績:申請193件

採択28件(特別助成)・124件(一般助成)

【咲くやこの花賞】

■将来の大阪文化を担うべき人材に「咲くやこの花賞」を贈呈(美術、音楽、演劇・舞踊、大衆芸能、文芸その他の5部門を設定)

➢令和元年度実績:受賞者:(美術部門:現代美術)笹岡 由梨子氏 ほか



オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラpresents 月イチ吹奏楽

【咲くやこの花賞受賞者等支援事業】

■「咲くやこの花賞」受賞者を中心とした若手芸術家の出演機会の提供や情報発信を行うことにより、大阪文化を担う人材の育成と新たな創作活動の促進を図る。

➢令和元年度実績:「咲くやこの花コレクション」吉田菘紫郎のバックパッカー文楽世界をゆく(R1.11.25大阪倶楽部ホール) ほか5プログラム

【大阪文化賞・大阪文化祭賞】

■大阪の芸術文化に貢献のあった方や優れた公演を表彰することにより、大阪の文化芸術活動の活性化を図る。

➢令和元年度実績:(大阪文化賞)受賞者:豊島 将之氏(将棋棋士)

【三好達治賞】

■三好達治を顕彰し、あわせてその年最も優れた詩集を発表した詩人に贈呈

➢令和元年度実績:3/23贈呈式開催予定

【織田作之助賞】

■織田作之助を顕彰し、あわせて1年間に刊行された新鋭・気鋭の作家の単行本に贈呈

➢令和元年度実績:織田作之助賞:窪 美澄氏「トリニティ」 ほか

【舞台鑑賞会(能・狂言、上方芸能、歌舞伎)】

■青少年や初心者が、気軽に芸術文化に親しむ機会を提供する。

➢令和元年度実績:能狂言「こどもと楽しむ能狂言」(2/23)大槻能楽堂 ほか・上方芸能「初心者のはじめのための寄席」(3/14)繁昌亭 ほか

【舞台鑑賞会(演劇)】

■初心者に鑑賞しやすい質の高い演劇鑑賞会を実施することによって、感性を育み、演劇に興味をもつ機会の提供をし、鑑賞者の裾野を広げる

➢令和元年度実績:「新潮劇院『孫悟空 天界で大暴れ』」(3/21、22)

A-②:芸術文化を将来へ継承、発展させる青少年の育成

【中学生が参加するコンサート】

■市立中学校の吹奏楽部生徒とプロのオーケストラが共演する機会を提供し、引き続き芸術文化に親しむきっかけづくりとする。

➢令和元年度実績:「はじめましてオーケストラ」大阪市中央公会堂(3/31)

【区と連携した芸術文化青少年育成事業】

■子どもたちに各区の特性に合った芸術文化にふれる機会を提供することで、芸術文化に関する豊かな感性を持った青少年の育成を図るとともに、地域への愛着や誇りをはぐくみ、大阪の芸術文化を支える人材育成を推進することを目的とする。

➢令和元年度実績:
「伝統芸能を体験してみよう」能・狂言”(北区)
ほか17区で実施



「伝統芸能を体験してみよう」能・狂言”(北区)

A-③:芸術家等が活動に取り組みやすい環境の整備

【芸術創造館管理運営】

■演劇、舞踏、音楽その他の舞台芸術の創作、練習又は発表の場を提供することにより、演劇等に携わる者の活動を支援するとともに、市民の文化交流を促進し、もって芸術及び文化の振興に寄与することを目的として芸術創造館を管理運営する。

➢令和元年度実績:指定管理者制度による管理運営(継続)

A-④:貴重な文化資源の保護・保存・継承

【文楽を中心とした古典芸能振興事業】

■大阪の誇る文楽を中心とした上方の古典芸能について、専用劇場での公演とは異なる仕立てでの鑑賞機会を提供するなど、気軽に古典芸能に触れる機会を市民に提供

➢令和元年度実績:文楽公演「中之島文楽」(R1.10.4,5大阪市中央公会堂・来場者数約1115人)、ツーリズムEXPOジャパン2019出展、春まつり文楽in TWIN21(3/5,6)、文楽に関するWEBフリーペーパーでの情報発信など



ツーリズムEXPOジャパン2019

【舞台鑑賞会(中学生のための文楽・夏休み親子ペア文楽)】

■国立文楽劇場の初心者向け公演を市立小・中・高校生が、授業の一環として観賞できる機会及び夏休みに親子・家族で文楽を楽しめる機会を提供

➢令和元年度実績:中学生のための文楽鑑賞教室
国立文楽劇場 参加者数:約4,360人
夏休み文楽特別公演「親子劇場」
国立文楽劇場 参加者数:約1,778人

【中央公会堂管理運営】

■国の重要文化財である大阪市中央公会堂を維持・活用するため指定管理者制度による運営を実施

➢令和元年度実績:指定管理者制度による管理運営(継続)

A-⑤:芸術文化を支える寄附文化の醸成

【芸術・文化団体サポート事業】

■ふるさと寄附金制度を活用し、あらかじめ登録された芸術・文化団体を寄附者が選んで本市へ寄附を行うことにより、市内を拠点として活動する芸術・文化団体の活動の促進を図り、民間の力で芸術文化を支える寄附文化を醸成する。

➢令和元年度実績:対象団体:23団体



Shido Osaka Shion Wind Orchestra

施策の方向性(B)「都市のための文化」:

大阪のもつ文化資源を、観光・産業振興等に活用し、大阪の都市魅力を向上させるために取り組む

B-①:大阪が誇る上方伝統芸能を活用した魅力発信

【伝統芸能を活用した大阪の魅力開発促進事業】

■東京オリパラに向けて、民間と協働し、大阪市内にある伝統芸能拠点におけるビジター・初心者向けコンテンツを創出

➢令和元年度実績:「おもしろ英語で楽しむ落語会」
「日本の“美”能楽を楽しむ会」
(計9回)

旅行事業者・有識者等で構成される
関係者会議の実施(3回程度:予定)



「演目にあわせた和菓子セットも楽しい落語Show!」

B-②:芸術文化の魅力を、観光資源及び経済の活性化に活用

【アジア映画祭】

■優れたアジア映画の鑑賞機会の提供、アジア映画関係者の交流の場の提供、大阪での映像制作活動を支援することにより、映像文化の集積・発信の拠点として大阪の都市魅力を高める。

➢令和元年度実績:アジア映画祭(開催期間:R2.3.6~3.15予定)
映画に関する人材育成に寄与する講座
ワークショップ など



B-③:都市全体を活用した芸術文化活動の展開

【大阪クラシック】

■初秋の1週間、御堂筋・中之島界隈のオフィスロビー等を会場にクラシックのミニコンサートを開催し市民に気軽にクラシック音楽に親しむ機会を提供

➢令和元年度実績:R1.9.8~9.14 主な会場 大阪市中央公会堂・御堂筋や中之島地区の
オフィスビルのロビー等
公演数 81公演 来場者数(合計) 約40,000人



大阪クラシック ©飯島隆



大阪クラシック ©飯島隆

施策の方向性(C)「社会のための文化」:

あらゆる人々に社会参加の機会を開くことができるよう、芸術文化がもつ社会への波及力を教育、福祉、まちづくり等に活用

C-①:教育、福祉、まちづくり等のあらゆる施策分野への活用

【こども本の森中之島開館準備・運営】

■子ども等に対し、文学を中心とした良質な芸術文化等に触れる機会を提供する施設として「こども本の森 中之島」を2020年3月に開館する。

➢令和元年度実績:「こども本の森 中之島」令和2年3月1日開館(予定)



こども本の森外観イメージ
※周辺環境は開館時に異なる可能性があります。

C-②:地域の特色ある芸術文化活動への取組み・支援

【地域文化事業】

■地域で行われる芸術文化活動が、ますます活発なものとなるよう、また、より内容豊かで芸術性・文化度の高いものにするを目的とする。

➢令和元年度実績:城東区「JOTO区ラシック—第13回城東区第九演奏会—」ほか12区で開催

【文学碑記念の集い】

■文学碑建立を記念して、文学に関する講演等を行い、大阪に関わる文学や芸術、歴史などを学ぶ

➢令和元年度実績:「第40回文学碑記念の集い」(R1.7.6)・参加者数:133人・出演者:道谷 卓・京山 幸太

【文学碑維持管理】

■文学者の生没の地や文学作品の主要舞台となった場所に設置した文学碑の維持管理(市内15基)

➢令和元年度実績:中央区「武田麟太郎」碑ほか1件の清掃

【クラシック音楽普及促進事業】

■大阪フィル会館の一部を音楽練習等市民利用に提供するとともに市民向けコンサートを実施する。

➢令和元年度実績:「にしなりクラシック〜イタリア音楽の調べ〜」(R1.11.23)
大阪フィルハーモニー会館 来場者数(合計)263人

【現代芸術振興事業(プレーカープロジェクト)】

■現代の芸術と地域をつなぎ、表現者と鑑賞者双方にとって有効な創造の現場を創出することを目的として実施

➢令和元年度実績:「作業場@旧今宮小学校」の実施
(5月~3月 17回実施予定)
創造活動拠点でのレジデンス事業
(5月~3月 実施)
展覧会「花岡伸宏つくるということ」の開催(R2.2.20~3.5)



Breaker Project「作業場@旧今宮小学校」